

2009年10月29日

ランクセスのペットボトル着色用染料「マクロレックス」

～高品質で、世界中の安全規制に準拠し、増加するペットボトル需要に対応～

ランクセス株式会社

拡大するペットボトル市場

現在アジア各国では、人々の行動範囲が急激に広がり、それに伴い携帯に便利なペットボトルが飲料用容器として一般的になっています。英国調査会社ユーロモニターインターナショナル社によれば、ペットボトルはアジア地域において最も使用されている飲料用容器です。特に中国では、2006年にペットボトルが飲料用容器の60%を占めるなど、順調に需要が伸びています。インドでもペットボトルは広く普及しており、ミネラルウォーターや牛乳、フルーツジュース、清涼飲料水、アルコール飲料用の容器としても使用されています。日本では、ペットボトル協議会によると2007年のPET(ポリエチレン・テレフタレート)製食品用容器包装の93%が清涼飲料水用でした。また2007年の日本のペットボトル消費量は、2002年に比べ36%増加しました。ユーロモニターインターナショナル社は、アジア全域の継続的なペットボトル需要により、アジアにおける飲料用ペットボトル市場が2010年には1,200億本に達すると見えています。

アジア市場において飛躍的な成長を見せる一方で、ペットボトル業界は課題にも直面しています。本来PETは黄色味を帯びています。これは容器の中身には全く影響がありませんが、消費者は製品の品質を、牛乳は白、ミネラルウォーターは無色といったように視覚的に判断する傾向があるため、飲料の販売に透明容器を好む飲料メーカーにとって懸念材料となります。



ペットボトル着色用染料「マクロレックス」

この課題は、特殊化学品メーカー、ランクセス(LANXESS)の機能性化学品ビジネスユニットが販売する「マクロレックス(Macrolex®) Red 5B」、「マクロレックス Violet 3R」、「マクロレックス Blue 2B」を使用することで解決することができます。大手PETメーカー各社は、無色透明または青味を帯びた透明のペットボトルを製造する際、重合プロセスにおいて「マクロレックス」染料を使用しています。「マクロレックス」は、飲料にペットボトルの着色用染料が移行しないという、PETメーカーにとって非常に重要な特性を備えているため、安心して消費財に使用できます。「マクロレックス」染料は純度が高く、食品包装や食品に直接、接触する用途に関する世界中の安全規制に準拠し、米国食品医薬局(FDA)の認可も取得しています。

紫外線から保護する必要のあるビールや果汁の入ったペットボトルは、緑色や濃い茶色に着色されています。PET 用カラーマスターバッチは、複数の「マクロレックス」染料が使用されていることがあり、それにより PET メーカーは、各用途に適したペットボトルの色を作成することができます。

ランクセスは、「マクロレックス」染料を、微顆粒状など様々な形態で提供しています。「マクロレックス」の微顆粒は、内部が空洞で微顆粒が容易につぶれやすい構造となっており、プラスチックの着色工程で均等かつ迅速に溶解します。流動性が高いため、計量の正確性を確保し、塊ができず均一な色を実現します。また着色材投入の際、容器には「マクロレックス」が残らず、無駄になることはありません。

#

ランクセスについて

ランクセスは、世界23カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2008年の総売上は65億8000万ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 14,335人、世界中に46の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスについての詳細は、同社URLにてご確認下さい。 <http://www.lanxess.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:

共同PR株式会社 第一業務局 時松、田中
TEL : 03-3571-5326 FAX : 03-3574-0316
lanxesspr@kyodo-pr.co.jp

免責について (Forward-Looking Statement):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2009-J0005J)